



各 位

会 社 名 GMOアドパートナーズ株式会社
代 表 者 代表取締役社長 高橋 信太郎
(JASDAQ・コード 4784)
問 合 せ 先 取締役 森竹 正明
(TEL : 03-5728-7900)

業績予想の修正、配当予想及び来期業績予想に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 2 月 18 日付け「J W o r d 株式会社の株式取得（子会社化）及び業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました平成 25 年 12 月期の連結業績予想の修正につき、平成 26 年 2 月 5 日開催の当社臨時取締役会において下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

また当社は、同取締役会において、平成 25 年 12 月期の配当予想及び来期（平成 26 年 12 月期）の業績予想についても決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株 当 たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,000	百万円 745	百万円 765	百万円 340	円 銭 23.13
今回修正予想 (B)	18,923	659	653	180	12.24
増 減 額 (B - A)	△1,077	△86	△112	△160	
増 減 率 (%)	△5.4%	△11.5%	△14.6%	△47.1%	
(参考) 前期連結実績 (平成 24 年 12 月期)	15,368	546	764	357	24.47

(注) 平成 25 年 12 月 1 日付で 200 分割を実施したため、1 株当たり実績を 200 分割換算して表示しております。

(2) 修正の理由

通期の売上高につきましては、前期比 23.1%増収となるものの前回発表予想から 10 億 77 百万円の減少となる見込みです。リスティング広告、スマートフォン広告、ソーシャル広告などが好調推移しているものの、フィーチャーフォン広告や純広告の取扱は下期以降に下げ止まらず、予想を下回りました。

営業利益は、前期比 20.6%増益となるものの前回発表予想比では 86 百万円の減少となる見込みです。

売上高が予想を下回ったのに加え、昨年夏にあった Google の検索アルゴリズムの変更による影響で SEO 商材の販売不振などがありました。

経常利益は、上記の理由に加え、前期に計上があったレバレッジドリースによる償還利益など約 2 億円がなくなったことなどから、前期比 14.6%減益となり前回発表予想から 1 億 12 百万円の減少となる見込みです。

当期純利益は、投資有価証券の減損による特別損失を計上することで、前回発表予想から 1 億 60 百万円減少し 1 億 80 百万円となる見込みです。

2. 配当予想の発表

(1) 配当予想 (平成 25 年 12 月期)

	1 株あたり配当金 (円)				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回発表予想	—	—	—	4.30	4.30
当期実績	—	0.00	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (平成 24 年 12 月期)	—	0.00	—	1,713.00	1,713.00

(注) 平成 25 年 12 月 1 日付で 200 分割を実施しております。

(2) 配当予想の発表の理由

当社は配当性向 35%を目標としており、今回、通期業績の予想の修正を決議したことに伴い、配当予想を発表するものです。

3. 次期業績予想について

(1) 平成 26 年 12 月期の連結業績予想 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	連結売上高		連結営業利益		連結経常利益		連結当期純利益		1 株当たり 連結当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
第 2 四半期 (累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通 期	23,000	21.5	1,000	51.7	1,000	53.1	400	122.2	27.19	122.1

(注1) 平成 26 年 12 月期の第 2 四半期 (累計) 連結業績予想は行っておりません。

(注2) 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 次期 (第 16 期 : 自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日) の業績見通し

インターネット広告市場は、スマートフォンの急速な普及やソーシャルメディア広告の伸長、アドテクノロジー商品の台頭などを中心に市場は大きな変化を迎えております。また、タブレットの普及開始や動画広告への注目度が向上するなど、さらなる変化を伴う成長市場であると考えております。

当社は、この成長市場において更なる販売力の強化と自社及びグループ開発商品の市場投入を行って参ります。平成 25 年 12 月期は、JWord 株式会社、GMO イノベーションズ株式会社の 2 社を期中より連結対象に加え、さらに平成 26 年 12 月期は期初より GMO ソリューションパートナー株式会社、GMO チャイナコンシェルジュ株式会社の連結を開始します。これらにより販路の多様化と自社商品販売比率の向上とによる経営基盤の強化が図られております。

以上の結果、当社連結業績見通しは、売上高 230 億円 (前期比 21.5%増)、営業利益 10 億円 (前期比 51.7%増)、経常利益 10 億円百万円 (前期比 53.1%増)、当期純利益 400 百万円 (前期比 122.2%増) となる見通しです。

以 上